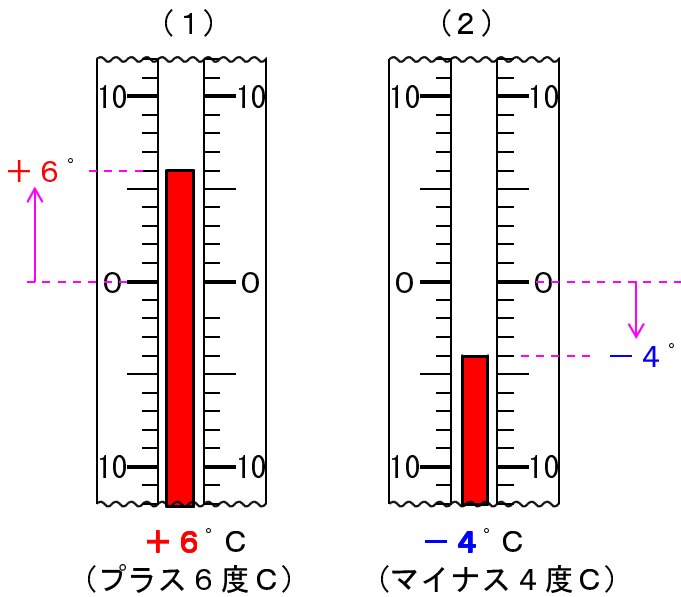


【要点1】 正の数・負の数の意味と表し方

温度計では0°より高い温度を+の符号をつけて、0°より低い温度を-の符号をつけて表します。
 (1)は+6°C、(2)は-4°Cと表します。



●温度と同じように数にも0より小さい数と0より大きい数があり、**0より大きい数を正の数**、**0より小さい数を負の数**といい、正の符号(+)
 と負の符号(-)をつけて表します。 **プラス**

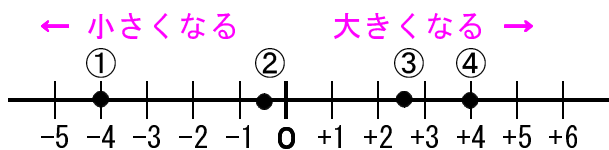
マイナス

- 0より5大きい数は+5と表します。
- 0より3小さい数は-3と表します。
- 0より3.7大きい数は+3.7と表します。
- 0より24.6小さい数は-24.6と表します。
- 0より $\frac{4}{5}$ 大きい数は $+\frac{4}{5}$ と表します。
- 0より $\frac{2}{7}$ 小さい数は $-\frac{2}{7}$ と表します。

【要点2】 数直線

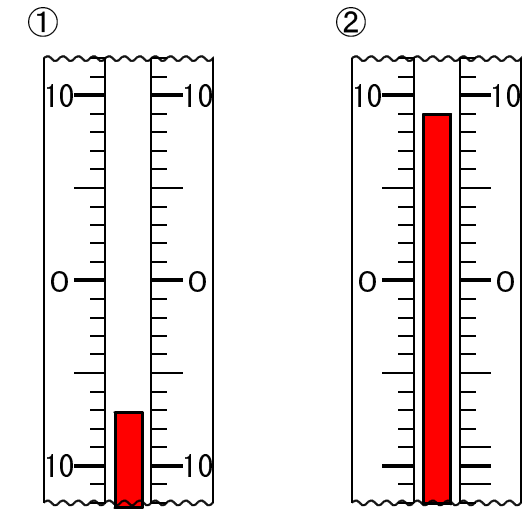
直線上に数を目盛ったものを数直線といい、0より左を負の数で、0より右を正の数で表す。

数直線上では**数は右に行くほど大きくなり**、**左に行くほど小さくなります**。



- ①は-4
- ②は $-\frac{1}{2}$ または-0.5
- ③は+2.5 または $+\frac{5}{2}$
- ④は+4

【問題1】 図の温度計のしめす温度を正の符号、負の符号をつけて、図の下のかっこの中に書きなさい。

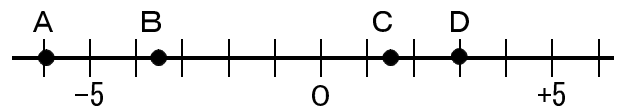


①() ②()

【問題2】 次の数を正の符号、負の符号をつけて表しなさい。

- ① 0より8大きい数 ()
- ② 0より19小さい数 ()
- ③ 0より0.7小さい数 ()
- ④ 0より $\frac{14}{37}$ 大きい数 ()
- ⑤ 0より $\frac{5}{24}$ 小さい数 ()

【問題3】 次の数直線上のA~Dにあたる数を書きなさい。



A() B()
 C() D()

【問題4】 次のB~Eの数をAのように数直線上に表しなさい。

- A: -5
- B: +2 C: -1.5 D: -3 E: +4.5

